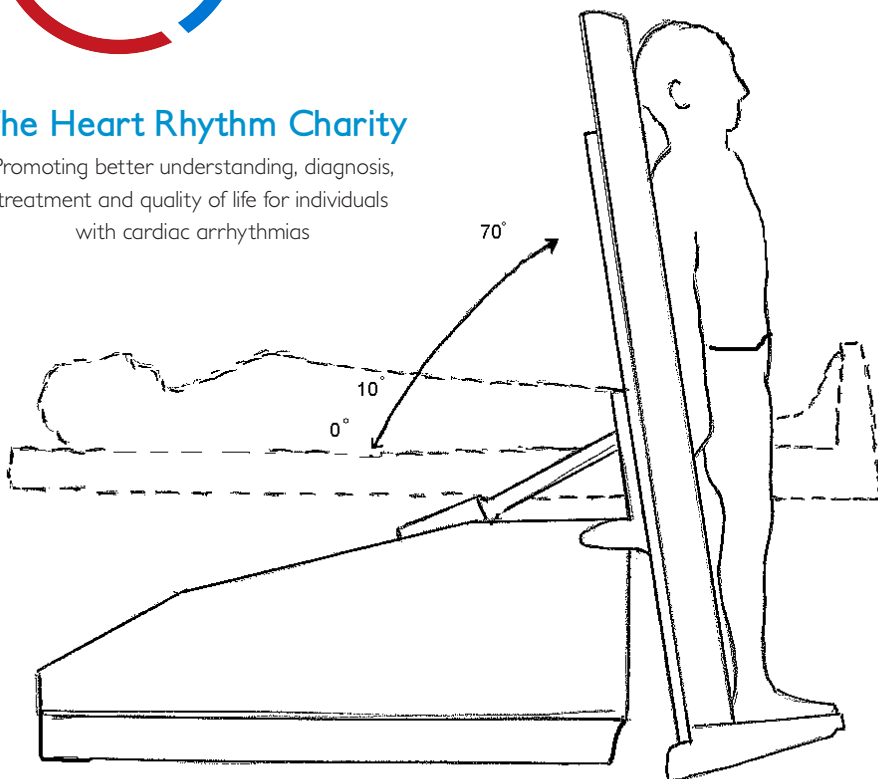




## 傾斜試験

### The Heart Rhythm Charity

Promoting better understanding, diagnosis, treatment and quality of life for individuals with cardiac arrhythmias



## 傾斜試験

[www.heartrhythmcharity.org.uk](http://www.heartrhythmcharity.org.uk)

Registered Charity No. 1107496 ©2010

アリスミア・アライアンス

The Heart Rhythm Charity（心拍チャリティー）

私たちは、心不整脈のより良い理解と、適切な治療や診断の促進、患者さんのQOL（生活の質）の向上をめざしています。

ティルトテスト（傾斜テスト）

## はじめに

この冊子は、ティルトテストを受けられた方やこれから受けようとしている方のために作成されました。ここに掲載されている情報は、調査や以前このテストを受けられた患者さんの経験からえられたもので、ティルトテストではどのようなことをするのかについて簡単に説明しています。実際の検査にあたっては、医師や専門家の説明をしっかりと聞いたうえで、参考としてこの冊子を使うようにしてください。

## 目次

用語とりまとめ

ティルトテストとは？

なぜティルトテストを受けなければいけないのですか？

ティルトテストとはどんなことをするのか？

ティルトテストにはどのくらい時間がかかりますか？

ティルトテスト中、どのように感じますか？

もしティルトテストの結果が陽性だったら？

ティルトテスト後はどのように感じますか？

帰宅に際して

## 用語解説

心臓生理検査技師(cardiac physiologist)

心拍の専門スタッフ。心拍の分析の専門家

循環器科

病院の科のひとつ。ここで心臓を診てもらう

## ティルトテストとは？

ティルトテストでは、あなたが横になっているときと、立っているときの心拍数及び血圧の変化を持続的に測定します。

多くの場合は、外来を受診した際に検査予約を入れ、後日日帰りで検査を受けることになります。検査に際して、通常使っている薬を控える必要があるかどうか、また飲食を制限する必要があるか、担当の医師から指示をもらってください。

検査には、ティルトテーブルという特別なベッドが用いられます。ティルトテーブルは水平の状態から、検査技師や医師の操作によってゆっくりと前方に起き上がっていき、やがてほぼ垂直になります。検査中は、あなたの血圧と心拍数がこの態勢の変化によってどのように変化するか、計測されます。

## なぜティルトテストを受けなければいけないのですか？

検査は、失神やめまいといった症状を経験された方に実施されます。これらの症状が、血圧や心拍数が低くなることによって引き起こされる場合があるためです。

通常、血圧や心拍数は、睡眠中や運動中などの状況に合わせて変化します。しかし、患者さんの中にはそうした状況に体が適切に対応しきれない方がいます。これによって血圧や心拍数の突発的な低下が起こり、失神やめまいなど、さまざまな症状が現れることがあります。ティルトテストによって、あなたの体がこのような問題を持っていないかどうか診断します。

## ティルトテストとはどのような検査ですか？

ティルトテストは、病院用のガウンに着替え、ティルトテーブルに横になるところから始まります。検査に際しては化粧を控え、予備の着替えを用意しておくとう良いでしょう。テーブルに横になった後に、安全確保のためセーフティベルトが絞められます。テーブルの下の部分には踏み板があるのでそこに足を載せてください。

心拍数とリズムを測定するため、電極（パッチ）とリード線が胸に取りつけられます。小さな血圧計バンドが腕や指につけられ、検査中それらが膨らんだりしぼんだりして血圧を測定します。

検査中は、横になったままじっとしています。

医師からは何もしゃべらないように言われます。しゃべると、測定中の記録に変化を及ぼすからです。

場合によっては、検査中に薬が投与されることもあります。薬を使うかどうかは、個々の患者さんによって異なり、医師と心臓生理士が相談して決められます。また、検査の前に点滴を行い、静脈注射の薬が投与される場合もあります。患者さんによっては、こうしたほうが検査の感度が良くなるからです。

まず、テーブルに静かに横になっているときの血圧と心拍数が測定されます。その後、直立姿勢になるまで、テーブルはゆっくりと前方に起き上がっていきます。そして約 45 分間、直立姿勢のままで、心拍や血圧が測定されます。検査が終了した後、テーブルは再びゆっくりと後ろに倒れ、はじめの姿勢に戻ります。

## ティルトテストはどのくらい時間がかかりますか？

検査の時間は、あなたが血圧や心拍数の低下を起こすかどうか、また、それがいつ起こるかによって変わってきます。最初の数分でそれらを起こす人もいますし、検査が終わるまで何も起こらない方もいます。起こらない場合、検査は陰性です。約一時間たっても何の変化も測定されない場合、ティルトテーブルは元の位置に戻され、検査が終了します。ティルトテストを受けるときは、医師や心臓生理士があなたの顔色の変化を見られるように、メイクは落としておくようにしましょう。

## ティルトテスト中、どのように感じますか？

検査中、以下のような症状が現れるかもしれません。

- ・めまい
- ・吐き気
- ・発汗
- ・冷えや気持ちの悪さ
- ・今にも気絶しそうな感覚

- ・ボーっとする

もし気を失ってしまっても、たいていすぐに回復しますし、気分が良くなるまでテーブルの位置は戻されます。

検査は、あなたの希望でいつでも中断できます。

中には血圧が変化しないにもかかわらず、何らかの症状を感じる方もいます。検査結果としては陰性と言えますが、この結果は意味のあるものとして担当医に報告されます。

### もしティルトテストの結果が陽性だったら？

上記の症状をともなって、血圧や心拍数の低下が観測された場合、検査結果は陽性となります。

検査結果はあなたの外来担当医に報告され、今後の治療について話し合うために次回外来の予約が組まれます。

### ティルトテスト後はどのように感じますか？

検査が陽性の場合、日ごろ感じていた症状と同じ症状を検査で誘発されることになりますので、気分が完全に良くなるまで休んでください。

検査結果が陰性の場合、多くの人は疲れた感覚はあっても、それ以外の症状は感じません。

### 帰宅に際して

検査の際には、友人や親せきにつき添ってもらい、検査後はいっしょに車で帰るようにしましょう。稀に検査中に失禁する場合がありますので、念のため着替えを持参したほうがいいかもしれません。

### ●便利なウェブサイト

インターネット環境がある場合には以下のウェブサイトも参照してみてください：

[www.arrhythmiaalliance.org.uk](http://www.arrhythmiaalliance.org.uk)

[www.bhf.org.uk](http://www.bhf.org.uk)

[www.cma.org.uk](http://www.cma.org.uk)

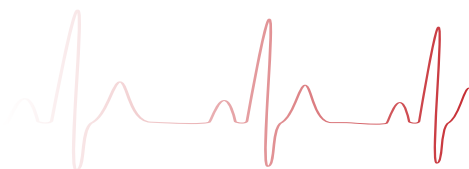
[www.dvla.gov.uk/at\\_a\\_glance/ch2\\_cardiovascular.htm](http://www.dvla.gov.uk/at_a_glance/ch2_cardiovascular.htm)

[www.sadsuk.org](http://www.sadsuk.org)

[www.stars.org.uk](http://www.stars.org.uk)

### おわりに

何か疑問点や不安な点があれば、医師や心臓生理士などに相談するようにしましょう。



Working together to  
improve the diagnosis,  
treatment and quality  
of life for all those  
affected by arrhythmias



## Arrhythmia Alliance

+44 (0)1789 867 501

✉ info@hearrhythmalliance.org

🌐 www.hearrhythmalliance.org

Registered Charity No. 1107496

©Arrhythmia Alliance

Published 2009  
Reviewed March 2022



**Finger on your Pulse:** is our new library of educational video resources. Medical Experts share their knowledge and address specific concerns and patients share their experience living with the various conditions and treatments.

🌐 [www.fingeronyourpulse.org](http://www.fingeronyourpulse.org)

Please remember that this publication provides general information. You should always discuss and seek advice from your healthcare professional what is most appropriate for you.

**Acknowledgments:** Arrhythmia Alliance would like to thank all those who helped in the development and review of this publication.

**Founder and Trustee:**  
Trudie Lobban MBE, FRCP (Edin)

If you would like further information or would like to provide feedback please contact Arrhythmia Alliance.